

議会報告会要点記録

開催日時	令和 4 年 5 月 11 日 (水) 19:00 ~ 20:25	
場 所	下山田自治会館	
出席議員	司会者	牧野一仁
	あいさつ	(開会) 清水豊司 (閉会) 伊藤奈穂子
	報告者	鈴木磯美 大石 舞
	記録者	田村俊二 田中正彦
事務局	高橋秀夫、丸本伸枝	
参加人数	16 人	
質疑・意見・提言等	Q	予算審査特別委員会の流れは。
	A	当初予算の例で、予算について詳細に確認するため各常任委員会から委員を選出し、予算特別委員会を設置する。8名の委員で一般会計、特別会計、企業会計を審査する。委員会での結論を踏まえ、本会議で最終的に決することになる。
	Q	町道391号線、湘光園道路について2019年の審議の際、どのような審議がされたのか。
	A	議員の一般質問を受けて町側が住民の意見を勘案し判断をした。議会としては開通の是非を議論していない。
	Q	5、6年前、四季の里の駐車場のことであるが、イベントの際、埃が舞うので改善を要望した。その際の答弁で「後で報告します。」とあるが未だに報告がないが。
	A	議会報告会で出された要望は、町側に報告している。町側に出した要望について調査し報告するという形をとっていなかった。議会として真摯に受け止めていきたい。
	Q	有害鳥獣のワナの確認であるが、毎日パトロールしているが費用負担の改善は。配布されたICT機器を使用してみると電波が届いていないような状況があるが。
	A	確認のためのICT機器を30台購入し配布している。電波状況については意見を伺い判明した。回答をするように担当課に伝える。
	Q	I C T機器の導入に際し電波の届く範囲は調査していたのか。
	A	導入に際し、事前調査は実施していると理解している。
	Q	有害鳥獣の提言でドローンの免許取得等について。
	A	提言を受けて町が導入等の判断する。ドローンの運用活用には資格が必要であるが民間に委託する方法もある。事業費は全額国ではなく町の負担もある。

質 疑 ・ 意 見 ・ 提 言 等	Q 耕作放棄地について。人農地プランを推進すれば解消するとしているが耕作面積、
	機械の導入経路の問題がある。町外からの人口導入を考えた場合、用途地域の制約があ
	る。市街化調整区域の転用について議会としての考えはあるのか。
	A 農振地域の転用は難しい。どのようなアプローチができるか企画経済常任委員会で
	調査検討を進める予定である。
	Q 防災について。柳地区の避難所は相和小学校であるが、自治会館にその機能を持た
	せられないか。今度できた防災倉庫の備蓄品の活用は。
	A 避難所までの経路については自治会のなかで検証して欲しい。各自治会館は第一時
	避難場所になっている。
	防災倉庫備蓄品については現時点では不明である。
	Q 学校が廃校になる基準はあるのか。
	A 幼稚園・保育園、小学校のあり方検討会を立ち上げ検討を行った。廃校・閉校の基
	準はない。
	Q 有害鳥獣の提言で官民連携とあるが具体的には。
	A 個々の具体的な事業の提言はしていない。提言は、近隣市町の取組みを参考例に取
り組むことを期待するものである。	
Q 古くなり破損したくくりワナの再利用の方策は。	
A 有害鳥獣対策は、有害鳥獣対策協議会が主導している。そのなかでの対応と考えら	
れるが、事務局は地域振興課なのでご要望の件は伝えたい。	